

## 令和 5 年度 デイパーク大府事業計画

### 【基本理念】

私たちは、地域に開かれ、利用者・入居者、家族、地域に愛され、頼られる「デイパーク大府」を目指します。

### 【基本方針】

私たちは、利用者・入居者への思い、生活スタイルを大切に、一人ひとりが望む生活に向けた支援に努めていきます。

### 【法人全体】

#### ① 地域との交流・地域貢献への取り組み

近隣地区への清掃活動、感染症予防を徹底し横根山 2 組と共同し、祭り等の再開、自治会、子供会等への支援や動画を利用した PR 活動、地域住民、地域に開かれた施設運営を継続する。

#### ② 職員の資質向上

新人・若手・中堅・管理職各セクションでの研修体系の継続的な実施。

介護福祉士資格のための研修費や試験費用の助成制度の運用、教育訓練休暇制度の定着。

セルフキャリアドック制度活用にてキャリアコンサルティングの実施。

WEB 研修会の拡大、QC 活動報告の継続によるケアの質向上。

各フォローアップ、ブラッシュアップ研修にてスタッフが目標を達成できる環境を創る。

#### ③ 職場定着環境支援の取り組み

評価処遇、研修、健康づくり、職場内コミュニケーションの円滑化、メンター制度(7年目)、雇用管理制度を導入し、職員の離職率の低下に取り組みます。

職務、職責、職能、資格勤続年数に応じて階層的に定める、賃金制度の整備経過7年目の評価と継続的な取り組みを推進します。

非常勤職員のキャリアアップの推進。(令和4年度2名実績)

ハラスメント防止窓口の活用、勤務時間の柔軟な対応、半日公休活用、介護と仕事の両立支援制度、育児と仕事の両立支援制度を確立し、働きやすい職場づくりに邁進します。

#### ④ 働き方改革・こころの健康対策

腰痛予防対策・ストレスチェック・メンタルヘルス研修・勤務時間の柔軟な対応・休暇取得推進など職員の健康にむけた取り組みを積極的に実施していく。(令和4年度6名実績)

## 資料 2 - 1

ICT テクノロジー活用で、時間外含めた労働時間の短縮、優先ケアに最大限の配置、配分、配慮を行い働きやすい職場環境、労務管理の徹底、介護ロボットの導入、福祉機器の有効利用、人員配置基準を遵守し業務効率化、業務改善による生産性の向上、残業時間の削減。

### ⑤ BCP への取り組み

災害や事故、感染症拡大の事態を想定し、法人全体でのBCP計画更新周知と非常食備蓄の更なる充実図り、福祉避難所としての整備を強化する。  
防災訓練等においては地域住民、関係者との連携を今後も積極的に図っていく。

### ⑥ 中長期計画の検討

新館大規模修繕の計画、建物、設備の更新実施等、地域課題に向け法人として果たすべき役割、取り組むべき事業に向けた計画づくりをする。  
利用者、家族に満足いただけるサービス提供を法人全体で効果的に取り組めるように必要な人材確保、人材育成の中長期的計画を策定する。

### ⑦ SDGs への取り組み

水光熱の節約でCO2排出削減活動（年間1.05t水供給処理設備運用実績）。  
食品ロスの取り組みで、食のシェア・マッチング・再利用への意識改革はかる。  
サステナブルな未来に向けて健康と福祉、質の高い教育を推進します。

## 【各事業所】

### 特別養護老人ホーム 定員80名

- ・ 感染症予防に努め標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底、感染経路の遮断、清掃・消毒を実施し、施設内感染を起こさない。入居者様の身体変化には素早く対応し感染対策・受診・キットでの検査を活用し感染者が出ても最小限に抑えることができる体制をとっていきます。
- ・ 職員教育の実施継続。ウェブ研修を積極的に利用し自分で考える力のある職員を育てます。メンター制度を継続し職員の離職率軽減に繋がります。
- ・ サービスの質の向上を目指します  
入居時及び身体状況の変化に応じてアセスメントを行いプラン作成、多職種連携会議で検討し入居者様を中心とした個別ケアを行っていきます。  
機能訓練についても個別で検討・実施し、穏やかな日常の中にも楽しみのある生活を目指します。

## 資料 2 - 1

- ・入居前からの人生に寄り添いご家族様との関係を大事に新しい生活様式の中  
ウェブ面会やご様子報告を活用致します。身体 の健康維持に努めますが、自然な  
体力の衰えや変化にも対応できるように、医師との連携を密に終身までみさせて  
いただきます。
- ・食事・排泄・入浴等の介護方法の検討を常に実施致します。  
寝台浴の新規導入を検討致します。
- ・職員の勤務時間を入居者様の生活に合わせて柔軟な対応ができるように検討して  
いきます。
- ・空室期間の短縮、入院期間の短縮、退居から新規入居の期間短縮等、考慮しながら  
面接の実施、外部機関ともスムーズに連携をとっていきます。

【目標数値】 平均介護度 4 稼働率 97.5%

短期入所事業所（ショートステイ）

定員 30 名

1. これまでに事業所内で 3 回、多数の感染者がでました新型コロナウイルスやインフルエンザに  
対し感染予防対策の徹底を継続します。
  - ① ご利用者の入所前検温、体調確認の継続、職員の就業前検温や各テーブルにクリアパネル  
の設置等の継続を行います。
  - ② ご家族に対しても新型コロナウイルスに関する情報をお手紙で出したり、基本、直接面会  
は中止し 1 階と 2 階での iPad による WEB での面会を継続します。
2. 稼働率を 90%に目標を定め、外部への営業活動や支援の質の向上に努めてまいります。
  - ① 主な営業活動としては、
    - (1) 新型コロナウイルスの感染状況より居宅介護支援事業所に出向き営業活動をするの  
は困難な為、FAX やメールを駆使しお手紙やご利用者の状況・情報の交換を行いま  
す。又、YouTube にて施設内の雰囲気をもってお知らせできます。
    - (2) 昨年、お手紙の内容をリニューアルし、写真を多用したお手紙で事業所をアピール  
しやすく致しました。これを継続します。
    - (3) お手紙に空床状況を分かりやすく掲載し月 2 回空床情報をお知らせ致します。
  - ② ご利用者様・ご家族様・ケアマネジャーとの信頼関係の構築や援助サービスの質の  
向上に努めてまいります。
  - ③ 今年度入った新人職員 2 名も事業所内の新人育成プログラムの過程を経て、日勤帯（早  
番・遅番・日勤）業務の他、夜勤の業務も覚え仕事もスキルアップ致しました。今後も

## 資料 2 - 1

日勤リーダー業務へと仕事の幅が広がるよう尽力します。

3. ご利用者様が過ごしやすい安心・安全な施設生活ができるよう、環境の整備に努めてまいります。
  - ① 老朽化した本館 6 階浴室のチェアー浴の更新を視野に検討致します。
  - ② 居室内の設えを整え、お泊りに見えたご利用者様が過ごしやすい場の提供ができる様に改善します。
4. 緊急入所に柔軟に対応し、ご利用者様・ご家族様の負担の軽減に努めます。レスパイトに対しても積極的に受け入れを行ってまいります。
  - ① 今年度も緊急で入所していただき援助を行ったケースがございました。今後も都合により緊急でご利用となる事例に関しても前向きに受け入れを行って参ります。

目標数値 稼働率 90% 年間 9855 名

### 通所介護事業所（第 1 老人デイサービスセンター） 定員 30 名

新型コロナの感染防止の徹底、ご利用者様の安心・安全・健康を第一とし、ご利用者様本人やご家族様が求めるサービスの提供と満足度の向上を図り、ケアプランに掲げられたご利用者様の目標が一つでも多く実現できるように運営の充実に努めていきます。

#### ① サービスの充実

- ・体操や機能訓練、歌、手作業等を通じて、ご利用者様の心身機能の維持向上に努め、社会参加や生きがいづくり、健康づくりの場となるように取り組んでいきます。  
また、ご利用者様の趣味・嗜好の把握に努め、ご利用者様自身が主体的に参加できる活動・プログラムを提供します。
- ・ご利用者様の状態やケアプランに掲げられた目標、ご自宅での生活環境を考慮しながら、個別に作成をした計画をもとに、残存能力の維持向上、介護予防を図るための個別機能訓練を提供します。
- ・事業所の強みである充実した入浴設備を活かし、ご利用者様の状態に合わせた入浴スタイルを提案させていただき、安全に快適な入浴サービスを提供します。

#### ② 科学的介護情報システム（LIFE）の活用

科学的介護推進体制加算、個別機能訓練加算Ⅱの算定のため、定期的に科学的介護情報システム（LIFE）へ必要なデータの送信を行っています。LIFE からフィードバックされたデータをサービスの改善に向けた検討材料として活用していきます。

#### ③ 新規利用者の開拓及び広報活動

コロナ禍の状況を踏まえ、営業活動は、訪問だけでなく、電子メールや YouTube 等の SNS を活用し、効率的かつ効果的に事業所情報がケアマネジャーへ伝わるよう

## 資料 2 - 1

に工夫していきます。

### ④ 職員の資質向上

職員のスキルアップのため、事業所内で介護技術研修を開催し、介護技術の向上、介護の質の均一化を図ります。また、オンデマンド等による研修参加を増やすことで、外部からの刺激をもらい、より「ご利用者様ファースト」な思考でサービスが提供できるように努めていきます。

### ⑤ 感染予防対策の継続

新型コロナウイルス等の感染予防対策の徹底を継続し、これからもご利用者様が、安心してデイサービスに出掛けられるように環境整備を進めていきます。

計画目標      稼働率 85 %      年間 7,900 名

通所介護事業所（第2老人デイサービスセンター）      定員 30 名

#### ・感染予防対策

- (1) 新型コロナウイルス及びインフルエンザ等の予防対策を引き続き徹底し、職員の感染症に対する意識啓発を図り、知識、予防策の方法を高め介護サービスの提供に努めてまいります。
- (2) 事業所内の備品（福祉用具）等の清掃、消毒の徹底

#### ・サービス内容の見える化

- (1) 年間行事・月案・週案を立て、テーマを持ちスタッフが変わっても、同じサービスが提供できるように努めます。また、日ごとの個別レクや機能訓練についても、ご利用者様が一目でわかるように毎日明記することとし、効率よく取り組めるよう配慮していきます。
- (2) リハビリの目標設定・目標達成度を個々に明確にし、ご本人の向上意欲を高めながらデイサービスに通ってもらえるように努めていきます。
- (3) ご利用者様（ご家族様）、ケアマネジャーにモニタリング報告を徹底し、写真等を添えて情報提供をおこなう。密な連携を図ることにより、信頼関係の構築を目指します。

#### ・業務内容の見える化

- (1) 職員の動態表の見直しを行い、マニュアル化をする。
- (2) 利用者個別対応表を作成し、利用者様への均一的な対応が行えるようにする。

#### ・新規利用者の開拓及び広報活動

- (1) 居宅介護支援事業所に月1回訪問し顔のみえる関係作りを継続する。
- (2) リーフレットや月間行事予定表を配布し、デイサービス利用時のレクリエーションや機能訓練内容をわかりやすく案内していきます。

#### ・職員の資質向上と教育

- (1) コロナ渦前に行えていたイベント企画の再構築をすることや、コロナ渦だからこそできるイベント企画を考えていきます。
- (2) 施設内外（オンデマンド）等の研修に参加して、ご利用者様本位で物事が考えられるよう

## 資料 2 - 1

な意識改革を目指します。

- (3) 職員教育を行う上で、教育担当者を配置する。職員が話しやすい環境を整え、雰囲気の良い職場環境を目指します。

計画目標 稼働率 83.3% 年間 7750名

### 居宅介護支援事業所 定数5名

- ・介護支援専門員5名（内、主任介護支援専門員1名）を配置し特定事業所（加算Ⅱ）として実施いたします。
- ・地域の困難事例への支援、入退院時の医療との連携、地域包括支援センターや行政など他職種との連携を図り支援いたします。
- ・大府市介護支援専門員連絡協議会の会員として目的に賛同し協力いたします。また大府市主任ケアマネの会（ZOOM会議）や知多北部広域介護支援専門員連絡協議会（ZOOM会議）へ参加し情報交換を行いケアマネジャーの資質向上を図ります。
- ・他の法人が運営する指定居宅介護支援事業者と共同で事例検討会など合同研修を開催し、地域のケアマネジャーの資質向上を図ります。
- ・知多北部広域連合及び地域包括支援センター等主催の研修（オンデマンド方式など）に参加します。
- ・知多北部広域連合より委託を受け介護保険認定調査員として登録いたします。
- ・愛知県介護支援専門員実務研修の実習生の受け入れ及び指導方法等習得に努め事業所内のケアマネジャーの資質向上を図ります。
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた法人全体の取り組みと合わせ、地域連携の入り口としての役割を担えるよう支援いたします。
- ・法人内の業務の効率化に向け、「サービス種別ごとに利用者が登録されている利用者を一本化」し、「福祉の森FUTURE」の利用者情報の統一を今後も継続いたします。

※大府市介護支援専門員連絡協議会規約：（目的）この会は大府市内における介護支援専門員が安心して働ける環境をつくることを目的とします。

※知多北部広域介護支援専門員連絡会会則より：（目的）この会は知多北部広域連合における介護支援専門員が安心して働ける環境をつくることを目的とします。

【計画目標】 要介護者 年間 1450名 要支援者 年間 360名

ケアハウス 利用定員 30名

令和5年1月31日現在 28名（入院中 1名）

## 資料 2 - 1

4月1日～12月31日 入所4名 退所6名

空室情報を関係機関等へ定期的にお知らせし、効率的に入居が出来るよう取組んで行きます。

平均入所期間も男性10年8ヶ月、女性8年6ヶ月を超えて、全体的に長期的な利用となり、それに伴い高齢化も進み全体の2/3が80歳以上の入居者となり、支援を必要とされる方も増えて来ており、円滑に援助が行えるようご家族、ケアマネ、介護事業者等とのより緊密な連携を図って行きます。

感染予防対策として入居者全体の支援から、少人数での支援に変更しています。これからもご入居者様からの声に耳を傾けて、個々の満足度を充実させて行きます。

ご入居者様には安心・安全な生活を送って頂けるよう、食事の二部制、こまめな清掃、アルコール消毒、マスク着用の声かけの徹底、外出後の検温、並びに健康チェックシートの記入等、感染予防対策を継続して行きます。

ご入居者様にとって潤いのある生活を持ってもらうため、コロナ禍前に活動していた陶芸教室、健康体操、絵手紙教室等生きがい活動に替わり、感染予防に取組みながら、定期的にお楽しみ会を開催し、四季と潤いを感じて頂けるよう、季節に合わせた手作りおやつ等を提供して行きます。

毎月の買い物ツアーも実施して行きます。ご入居者の希望を確認しながら、周辺のスーパーマーケット等へ送迎を行い、感染予防に気を配りながら、地域の方との社会参加を含めた生活向上を支援して行きます。

買い物ツアー等に参加されていない方への生活向上支援として、毎週定期的に食料品を中心とした移動販売車が来所されており、感染予防に配慮しながら、案内、誘導等を行ってまいります。

無料送迎を行って4年目になります。今後も、事前に行先等を伺い病院やスーパー等、生活支援に直結することを中心に送迎を行い、充実した社会生活を支援して行きます。

防災対策、地域交流の一環として、ご入居者様と地域住民との合同防災訓練が実施出来るように、地域住民にも参加を促して参ります。

訪問歯科医院の協力を受け、希望するご入居者様全員に無料の年1回歯科検診を実施するとともに、継続的な治療が必要なご入居者様には居室での歯科診療、義歯調整を行い、今後も継続して行きます。

管理栄養士と担当者による面談を定期的に行い嗜好、健康、日常生活、食事（献立）などの検討

## 資料 2 - 1

を行っていきます。

グループホーム 定員数 2ユニット 18名

### 1、新型コロナウイルス感染予防対策の継続と緩和に向けての対応

- ① 『コロナ感染予防対策』の継続と『ホーム内のウイルスの持ち込み防止』の職員への対象者の早期発見と早期対応を徹底していき、クラスター防止に努めます。
- ② 面会や外出の制限緩和が予想されるため、ご入居者様・ご家族様が安心して過ごしていただけるよう、法人・ご家族・職員で情報共有し対応できるように努めます。

### 2、職員の認知症ケアスキルアップの継続

- ① 今後の資格加算に伴う、認知症基礎研修・認知症実践者研修の職員への取得、外部・内部研修による認知症ケア研修の参加に努めていきます。
- ② 管理者・リーダー・介護職員による報連相、メンタル面での対応、ケアに対する問題課題点の解決方法などチームとしてのチーム力向上に努めていきます。

### 3、入居者様の転倒による事故の再発防止

- ① 転倒による事故の再発防止に向けて、原因分析・再発防止策・再アセスメント・環境整備・情報共有・フィードバック会議の実施に努めていきます。
- ② リスクマネジメント・危険予知トレーニング等の再発防止の知識向上の勉強会の実施や研修参加に努めていきます。

### 4、入退居の速やかな行動、他事業所との連携、空室日数の削減の継続

- ① 申し込みによる入居待機者の現状を把握し、入居者状況を確認していきます。  
待機者がいない状況の時は、各事業所の介護支援専門員と連絡を取り合い情報収集に努めます。
- ② 退居入居に係る空室期間を減らすため、ご家族様や他事業所との連携のもと、速やかに行動できるように努めます。

令和5年度 目標：稼働率 95%以上 年間延数 約6250名以上  
※年間空室日数100日以下